



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月24日

上場会社名 株式会社 阿波銀行
 コード番号 8388 URL <http://www.awabank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総合企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月24日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 岡田 好史
 (氏名) 矢部 誠一
 TEL 088-623-3131
 特定取引勘定設置の有無 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	49,221	0.5	13,738	22.9	8,414	36.5
25年3月期第3四半期	48,949	△4.7	11,171	66.4	6,162	170.8

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 8,932百万円 (△3.3%) 25年3月期第3四半期 9,237百万円 (129.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	36.76	—
25年3月期第3四半期	26.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,947,539	220,172	7.0
25年3月期	2,869,321	213,154	7.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 209,183百万円 25年3月期 202,318百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.50	—	3.50	7.00
26年3月期	—	3.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.50	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,800	△0.4	16,500	2.5	9,600	4.8	41.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	231,100,000 株	25年3月期	231,100,000 株
26年3月期3Q	2,126,072 株	25年3月期	1,593,180 株
26年3月期3Q	228,904,287 株	25年3月期3Q	230,346,412 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

なお、当第3四半期決算短信の開示時点において、当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に関する監査法人のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

※四半期決算補足説明資料の入手方法

四半期決算補足説明資料につきましては、当第3四半期決算短信に添付しております。

【添付資料】

〔 目 次 〕

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
-----------------------------	-------	---

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6

4. 平成26年3月期 第3四半期 決算説明資料

(1) 損益状況(単体)	7
(2) 預金・貸出金等の状況(単体)	8
(3) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示(単体)	9
(4) 自己資本比率(国内基準)	10
(5) 時価のある有価証券の評価差額(連結)	10
(6) 地域への貢献および中小企業に対する金融円滑化への取組み状況	11

- (注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 利回り、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
ただし、4.(3)金融再生法ベースのカテゴリーによる開示の記載金額、比率については、単位未満を四捨五入しております。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)の経営成績について、経常収益は、投資信託の販売増加により役務取引等収益が増収となったことなどから、前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)比2億71百万円増収の492億21百万円となりました。

一方、経常費用は、株式等売却損等の減少から、前第3四半期連結累計期間比22億95百万円減少し、354億82百万円となりました。

この結果、経常利益は、前第3四半期連結累計期間比25億66百万円増益の137億38百万円、四半期純利益は、前第3四半期連結累計期間比22億52百万円増益の84億14百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末(平成25年12月31日)における財政状態について、譲渡性預金を含めた預金は、個人預金・法人預金・公金預金が順調に推移したことから、前連結会計年度末(平成25年3月31日)比949億円増加し、2兆6,092億円となりました。

貸出金は、一般貸出金や地公体等向け貸出金等が増加したことから、前連結会計年度末比348億円増加し、1兆6,029億円となりました。

有価証券は、安全性・流動性を重視しつつ効率的な運用に努めた結果、前連結会計年度末比321億円増加し、1兆260億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、通期業績予想に対する進捗率が、経常収益75.9%、経常利益83.2%、四半期純利益87.6%となっており、いずれも計画を上回るペースで推移しておりますが、今後の経済情勢や金融市場の動向等により与信費用や有価証券関係損益等が変動する可能性があります。このため、現時点において、平成25年11月8日に公表いたしました平成26年3月期(通期)の業績予想につきましては、変更はありません。

(参考) 通期連結業績予想(平成25年11月8日公表)に対する進捗率

(百万円、%)

	経常収益	経常利益	当期純利益
平成26年3月期(通期)連結業績予想	64,800	16,500	9,600
当第3四半期連結累計期間における実績	49,221	13,738	8,414
(通期連結業績予想に対する進捗率)	(75.9)	(83.2)	(87.6)

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 税金費用の処理

税金費用につきましては、当第3四半期累計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

また、一部の連結子会社の税金費用は、税引前四半期純利益に、前年度の損益計算書における税効果会計適用後の法人税等の負担率を乗じることにより算定しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
現金預け金	147,926	182,337
コールローン及び買入手形	90,234	65,820
買入金銭債権	6,040	2,784
商品有価証券	783	890
有価証券	993,984	1,026,086
貸出金	1,568,136	1,602,939
外国為替	5,806	4,544
リース債権及びリース投資資産	22,354	22,822
その他資産	13,054	17,465
有形固定資産	33,063	32,471
無形固定資産	3,196	3,100
繰延税金資産	377	416
支払承諾見返	6,325	7,119
貸倒引当金	△21,962	△21,258
資産の部合計	2,869,321	2,947,539
負債の部		
預金	2,405,997	2,469,140
譲渡性預金	108,357	140,114
コールマネー及び売渡手形	48,663	15,281
債券貸借取引受入担保金	9,590	19,342
借入金	11,892	11,648
外国為替	75	4
社債	22,000	22,000
その他負債	22,630	22,190
賞与引当金	26	—
役員賞与引当金	42	31
退職給付引当金	6,360	6,232
役員退職慰労引当金	326	383
睡眠預金払戻損失引当金	635	442
偶発損失引当金	501	530
繰延税金負債	9,224	9,386
再評価に係る繰延税金負債	3,516	3,516
支払承諾	6,325	7,119
負債の部合計	2,656,167	2,727,367
純資産の部		
資本金	23,452	23,452
資本剰余金	16,232	16,240
利益剰余金	110,749	117,560
自己株式	△822	△1,125
株主資本合計	149,612	156,128
その他有価証券評価差額金	48,456	48,301
繰延ヘッジ損益	△820	△317
土地再評価差額金	5,070	5,070
その他の包括利益累計額合計	52,706	53,054
少数株主持分	10,836	10,988
純資産の部合計	213,154	220,172
負債及び純資産の部合計	2,869,321	2,947,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

① 四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
経常収益	48,949	49,221
資金運用収益	32,727	32,660
(うち貸出金利息)	22,667	21,853
(うち有価証券利息配当金)	9,735	10,529
役務取引等収益	5,252	5,868
その他業務収益	9,455	8,897
その他経常収益	1,513	1,794
経常費用	37,778	35,482
資金調達費用	1,930	1,648
(うち預金利息)	1,037	737
役務取引等費用	1,076	1,108
その他業務費用	7,815	8,137
営業経費	21,783	21,522
その他経常費用	5,172	3,066
経常利益	11,171	13,738
特別損失	48	28
固定資産処分損	24	26
減損損失	24	2
税金等調整前四半期純利益	11,122	13,709
法人税等	4,588	5,011
少数株主損益調整前四半期純利益	6,534	8,698
少数株主利益	372	283
四半期純利益	6,162	8,414

② 四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,534	8,698
その他の包括利益	2,703	234
其他有価証券評価差額金	2,847	△268
繰延ヘッジ損益	△144	503
四半期包括利益	9,237	8,932
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,724	8,763
少数株主に係る四半期包括利益	513	169

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当ありません。

4. 平成26年3月期 第3四半期 決算説明資料

(1) 損益状況(単体)

当第3四半期は、投資信託の販売増加により役務取引等利益が増益となったほか、有価証券利息配当金の増収により資金利益も増益となりました。この結果、コア業務純益は前年同期比7億30百万円増益の145億47百万円となりました。

また、経常利益は、有価証券関係損益の改善や実質与信費用の減少等から、同28億2百万円増益の131億7百万円となり、四半期純利益も同22億71百万円増益の83億29百万円となりました。

	平成26年3月期 第3四半期 (9カ月間) (A)	平成25年3月期 第3四半期 (9カ月間) (B)	前年同期比 (A)-(B)	(単位:百万円) 平成26年3月期 通期業績予想
経常収益	39,832	39,350	481	52,300
業務粗利益(除く国債等債券関係損益)	35,079	34,309	769	
資金利益	31,038	30,838	200	
役務取引等利益	4,014	3,422	591	
その他業務利益 (除く国債等債券関係損益)	26	48	△ 21	
経費(臨時処理分を除く)	20,531	20,492	39	
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	14,314	14,294	19	
コア業務純益	14,547	13,816	730	18,900
一般貸倒引当金繰入額①	△ 863	△ 1,087	223	
業務純益	15,177	15,381	△ 204	
うち国債等債券関係損益②	△ 233	477	△ 711	
臨時損益	△ 2,070	△ 5,077	3,007	
うち不良債権処理額③	3,583	4,516	△ 933	
個別貸倒引当金繰入額	3,420	4,201	△ 781	
偶発損失引当金繰入額	29	68	△ 39	
その他の貸出金償却等	134	246	△ 112	
うち償却債権取立益④	544	489	55	
うち株式等関係損益⑤	491	△ 995	1,487	
経常利益	13,107	10,304	2,802	15,400
特別損益	△ 26	△ 48	22	
四半期純利益	8,329	6,057	2,271	9,500
有価証券関係損益(②+⑤)	257	△ 517	775	
実質与信費用(①+③-④)	2,174	2,939	△ 764	

(注) 通期業績予想は、平成25年11月8日公表数値です。

(2) 預金・貸出金等の状況(単体)

① 預金の残高

譲渡性預金を含めた預金の残高は、個人預金・法人預金・公金預金が順調に推移したことから、前年同期(平成24年12月末)比1,208億円の増加となりました。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	平成25年12月末	24年12月末比	25年3月末比	平成24年12月末	平成25年3月末
預金 (A)	24,729	1,021	628	23,707	24,100
譲渡性預金 (B)	1,434	187	316	1,247	1,117
総預金 (A)+(B)	26,163	1,208	945	24,954	25,217
うち個人預金	17,499	568	633	16,931	16,866
うち法人預金	6,214	264	174	5,949	6,039
うち公金預金	2,245	360	145	1,885	2,099

② 預かり資産の残高

預かり資産の残高は、個人年金保険等が前年同期比49億円増加し、投資信託も同31億円増加しましたが、公共債が同101億円減少したことから、全体の残高は同19億円の減少となりました。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	平成25年12月末	24年12月末比	25年3月末比	平成24年12月末	平成25年3月末
公共債	849	△101	△89	951	938
投資信託	972	31	△118	940	1,090
個人年金保険等	1,980	49	0	1,930	1,980
合計	3,803	△19	△207	3,823	4,010

(注) 個人年金保険等 = 個人年金保険 + 終身保険

③ 貸出金の残高

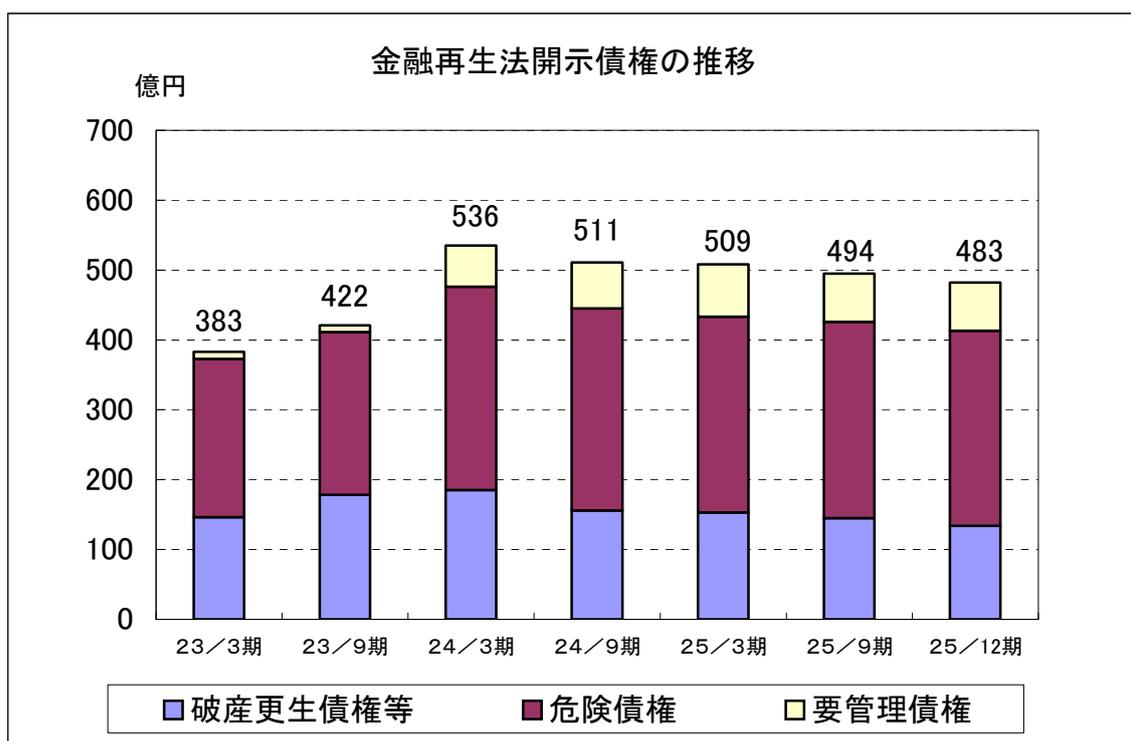
貸出金の残高は、一般貸出金や地公体等向け貸出金等が増加したことから、前年同期比560億円の増加となりました。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	平成25年12月末	24年12月末比	25年3月末比	平成24年12月末	平成25年3月末
貸出金(末残)	16,035	560	346	15,475	15,689
一般貸出	11,973	217	151	11,756	11,821
地公体等	1,164	318	165	845	998
個人ローン	2,897	24	28	2,873	2,869
うち住宅ローン	2,713	32	36	2,680	2,676

(3) 金融再生法ベースの категорияによる開示(単体)

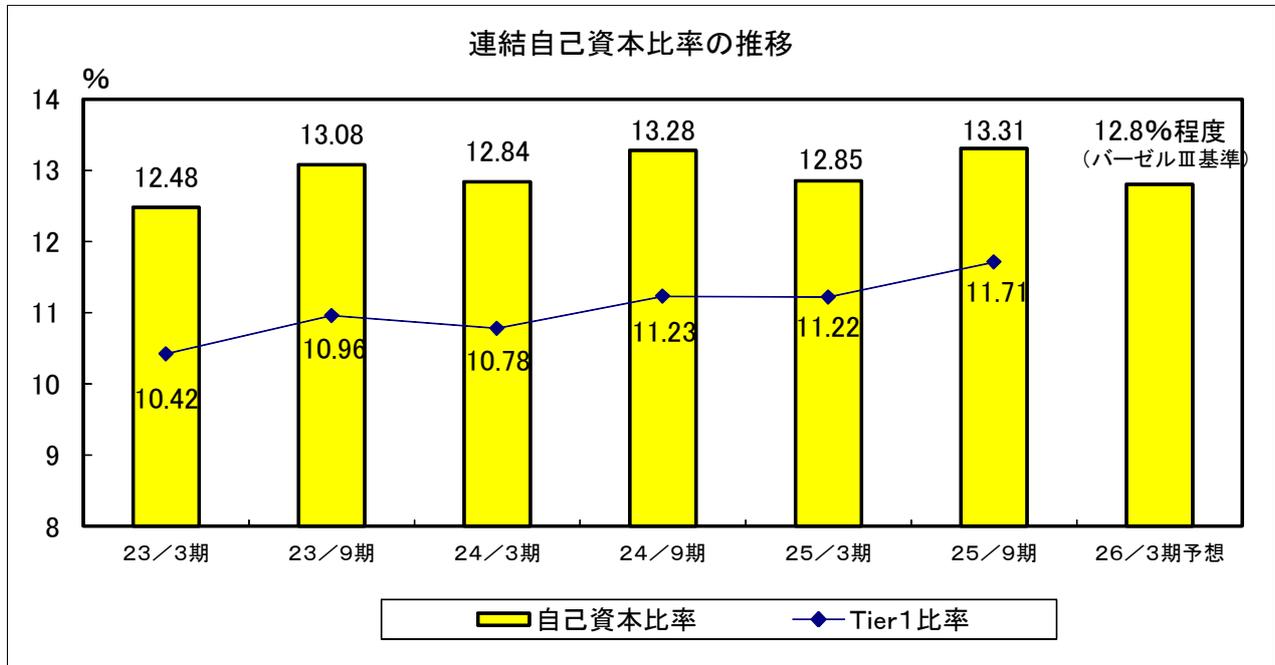
金融再生法開示債権は、前年同期比15億円減少し、483億円となりました。また、総与信残高に占める開示債権の比率は0.20ポイント改善し、2.99%となりました。

	(単位：億円)			(参考)(単位：億円)	
	平成25年12月末	24年12月末比	25年3月末比	平成24年12月末	平成25年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	134	△ 16	△ 19	150	153
危険債権	279	△ 0	△ 1	279	280
要管理債権	69	1	△ 6	68	75
開示債権合計	483	△ 15	△ 26	497	509
正常債権	15,681	583	387	15,098	15,293
総与信残高	16,163	568	361	15,595	15,802
総与信残高比	2.99%	△0.20%	△0.23%	3.19%	3.22%



(4) 自己資本比率(国内基準)

新自己資本比率規制(バーゼルⅢ・国内基準)に基づく3月末の連結自己資本比率(予想値)は、12.8%程度となる見込みです。



(注) バーゼルⅢ基準は、金融機関の健全性をさらに向上させるため、従来よりも厳格となった自己資本比率規制の基準です。国内基準行には、平成26年3月期末より適用されます。

なお、上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

(5) 時価のある有価証券の評価差額(連結)

「その他有価証券」の評価差額は、株価等の上昇から、前年同期比286億円増加し、758億円の評価益となりました。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	平成25年12月末	24年12月末比	25年3月末比	平成24年12月末	平成25年3月末
その他有価証券	758	286	△ 4	471	762
株式	480	244	56	235	424
債券	184	△ 4	△ 48	188	232
その他	93	46	△ 12	46	105

(注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、評価差額は連結貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。なお、時価は、株式については当第3四半期連結会計期間末月1カ月の平均時価に、それ以外は当第3四半期連結会計期間末日の時価に基づいております。

2. 有価証券のほか、「買入金銭債権」中の信託受益権を含めて記載しております。

3. なお、「満期保有目的の債券」及び「時価のある子会社・関連会社株式」の保有残高はございません。

(6) 地域への貢献および中小企業に対する金融円滑化への取組み状況

① 中小企業等貸出金残高の状況

中小企業等貸出金残高は、前年同期比 100 億円増加しました。
また、中小企業等貸出金比率は、同 2.49 ポイント低下したものの、86.82%と引続き高い水準を維持しております。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	平成25年12月末	24年12月末比	25年3月末比	平成24年12月末	平成25年3月末
中小企業等貸出金残高	13,922	100	△ 13	13,821	13,936
中小企業貸出金残高	11,024	76	△ 42	10,948	11,067
個人ローン残高	2,897	24	28	2,873	2,869
中小企業等貸出金比率	86.82%	△2.49%	△2.00%	89.31%	88.82%

② 地域別貸出金の状況

地域別の貸出金残高は、徳島県内が前年同期比 187 億円の増加、関西地区が同 135 億円の増加、徳島県以外の中四国地区が同 29 億円の増加、関東地区が同 207 億円の増加となり、いずれの地区も増加いたしました。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	平成25年12月末	24年12月末比	25年3月末比	平成24年12月末	平成25年3月末
徳島県内	9,705	187	75	9,517	9,629
関西地区	3,394	135	103	3,258	3,290
徳島県以外の中四国地区	1,456	29	13	1,427	1,442
関東地区	1,479	207	153	1,271	1,326
合計	16,035	560	346	15,475	15,689

③ 信用保証協会付融資の状況

信用保証協会付融資残高は、前年同期比 132 億円減少し、1,413 億円となりました。

	(単位:億円)			(参考)(単位:億円)	
	平成25年12月末	24年12月末比	25年3月末比	平成24年12月末	平成25年3月末
信用保証協会付融資残高	1,413	△ 132	△ 95	1,545	1,508

以上